Topic3 幼年消防隊が火災予防を呼びかける

春の火災予防期間中の３月３日、タイヨー枕崎店駐車場ほか３箇所で火災予防運動街頭キャンペーンが行われました。市内６保育園の園児が枕崎市消防署員と一緒に街頭に立ち「火の用心をお願いします」と声をかけながら火災予防の啓発チラシなどを配布しました。

また、防火意識向上を目的に行われた幼年消防クラブポスター展では阿多唯路（いちろ）くん（立神幼年消防隊・写真右上）と久保有咲（ゆさ）ちゃん（ふじ幼年消防隊・写真右下）の作品が金賞に選ばれました。

Topic4 女性消防団員が１人暮らし高齢者に防火指導

３月２日、市消防団の女性消防団員６人と枕崎市消防署員３人が金山校区内の１人暮らしの高齢者宅を訪問し、防火指導を行いました。

３班に分かれ、約20世帯を訪問し、住宅用火災報知器の設置状況や火を使う場所の確認などをし、細やかな気配りで防火を呼びかけました。

Topic5 「最期まで自分らしく過ごすために」在宅医療について考える

３月２日、鹿児島県医師会主催による在宅医療推進市民講座が地場産業振興センターで開催されました。おおさか往診クリニック（大阪府吹田市）の田村学先生による講演では、「最期まで自分らしく過ごすために」と題し、いくつかの症例を紹介しながら、最期まで自分らしく過ごすために、みんなで在宅医療について考えることの大切さを訴えました。

その後、落語家の桂竹丸さんの「笑いの世界裏から見れば！」と題した落語を聞き、来場者は楽しみました。

Topic1 ふるさと再発見をテーマに生涯学習フェスティバル

「豊かな人間性と文化を育む、ゆとりに満ちたまちづくり～ふるさと再発見」をテーマに、さまざまな団体や市民が１年間取り組んだ成果を発表する第23回生涯学習フェスティバルが３月９日、市民会館で開催されました。

表彰式や活動成果発表、体験コーナーなどがあったほか、講演では本市出身で元大相撲立行司36代木村庄之助の山﨑敏廣さんが「努力すれば夢は叶う」を演題に、10年目に行司を辞めようと考えて枕崎に帰郷し、火の神公園から立神岩を見た時、凪の時も荒れ狂う波の時もびくともしない姿と自分の行司人生を重ね合わせ、目先のことにとらわれず、もう一度努力をしようと決意をしたというエピソードなどを交えて話し、最後は相撲甚句を披露しました。

①講演をする山﨑敏廣さん　②県青少年国際協力隊体験事業（ベトナム）に参加した安藤博香さんと俵積田悠さんによる活動成果発表　③チューブストラップ作り体験　④展示コーナー

表彰者の紹介（敬称略）

【青少年健全育成功労者】　大徳広夢、中釜諒平、桑山晃洋、藤井和一、山崎国彦、日渡義美

【優良社会教育関係功労者】　枕崎商工会議所女性会、村野欣一、木口屋淳雄、真茅良一、加治吉郎、揚村博郎

【市民あいさつ運動標語最優秀賞】　豊留佳苗（別府小１年）、万田龍海（桜山小２年）、田﨑真衣（立神小３年）、中原久世李（別府小４年）、茅野壮馬（別府小５年）、園田和真（立神小６年）、立石優太（枕崎中１年）、白澤智美（別府中２年）、桑原康輔（立神中３年）

※最優秀賞作品は、「まちのカレンダー」のコーナー横で毎月紹介します。

Topic2 福岡工業大学硬式野球部キャンプを激励

福岡工業大学硬式野球部による春季キャンプが２月22日から６日間の日程で市営野球場で行われました。恒例となったキャンプも今回で18回目を迎えました。

キャンプ初日の２月22日には激励を込めて市と市議会から黒豚しゃぶしゃぶセット、ＪＡ南さつま枕崎支所からペットボトルのお茶が贈られました。

食の時記 まくらざき味探訪　菜の花とえびのパン・デ・ロール

後で油で揚げるので、菜の花はサッと塩ゆでするのがポイント。
これから暖かくなります。春の行楽弁当にいかがですか？

中山 真智子さん（60・泉町）

●材料

菜の花 …… １束
えび …… １パック
塩コショウ …… 適量
サンドイッチ用食パン …… 適量
マヨネーズ …… 適量
マーガリン …… 適量
卵黄 …… １個

●作り方

①菜の花は半分の長さに切り、サッと塩ゆでしたらキッチンペーパーなどで水分を取る。えびは尻尾まで殻を取り、腹に包丁を入れ、塩コショウで下味を付けたらキッチンペーパーで水分を取る。
②マヨネーズとマーガリンを混ぜ合わせ、パンの2/3位に薄く塗り、残りの部分に接着用の卵黄を塗る。菜の花→えび→菜の花の順にパンに置き、丸く包む。
③180度の油で転がしながら揚げ、うすいキツネ色になってきたら完成。

稚内便り

今月から本市と友好都市である北海道稚内市の観光、食の魅力、イベント情報などを紹介していきます。

枕崎市の皆さん、こんにちは。

枕崎市広報紙の紙面を借りて、今月から稚内市の紹介をさせていただきます。

稚内市は北海道の最北端にあり、面積は760・8平方キロメートル、わずか43キロメートル先にロシア連邦サハリン州を望むことができる、国境を有する街です。

また、多くの風力発電施設（風車）や大規模太陽光発電施設があり、環境に優しい自然エネルギー政策を推進し、環境都市宣言もしています。

夏の平均気温は約18度で、真夏でも30度を超える日がほぼなく、しかも梅雨がありませんので、冷涼で避暑地に最適です。

冬の平均気温は約マイナス5度で、最北端だから日本で一番寒い！とイメージされるかもしれませんが、実はそれほど寒くありません。スノーモービルやスノーラフティングなど、「さまざまな冬の屋外スポーツを楽しみたい！」という方は存分に楽しめる環境です。（北海道にはマイナス30度になる地域もあります）

もし機会がありましたら、「ご家族そろって」、「ご友人同士で」、「恋人とお二人で」など、「稚内に、行ってみなけりゃ、わっかない（わからない）」を合言葉に、ぜひ皆さんで私たちの街へお越しください！

イベントや最北の味覚などについて、次号以降ご紹介していきます。

▲壮観な宗谷丘陵の風車群

■問合せ　稚内市秘書広報課
広報グループ　TEL０１６２-２３-６３８７